

# 四国地方整備局で初の 無人航空機(UAV)の操作講習会を実施しました。

熊本地震や九州北部豪雨では国土地理院等の無人航空機が被災状況の早期把握や情報提供等の効果を発揮し、有効性が大いに示されました。

四国地方整備局においても南海トラフ巨大地震等の災害に対応する体制を確保するため、無人航空機に関する知識及び操縦技術の習得を目的として操作講習会を実施しました。

【実施日】平成29年11月13日(月)～14日(火)

【場所】四国技術事務所 研修所  
国営讃岐まんのう公園

【参加者】四国地方整備局職員、国土地理院職員、防災エキスパート



【当事務所保有のPhantom4】

初日は法律など操作に必要な基礎知識、フライトシミュレーターによる操作講習やUAV実機による基本操作を行いました。



2日目は、あいにくの雨となりドラ夢広場からドラ夢ドームに場所を変えて操作講習を行いました。

講習会ではUAVを実際に飛行させるための気象の確認、機体のチェックから始まりコーン上を順番に飛行させるなどの操作を行いました。



風速、風向など  
気象状況の確認、  
機体のチェック状況。



2日目の初めに熊本地震や九州北部豪雨で実際に飛行させた、国土地理院職員(ランドバード隊員)によるデモフライトが行われました。